

熊本大学文学部附属
永青文庫研究センター

年 報

第8号

2017

熊本大学文学部附属永青文庫研究センター

緒 言

2016年4月14・16日の熊本地震発災は、本センターにも大きな衝撃を与えた。施設・設備の被災は軽微であったが、震災が本年度の研究や社会的活動の内容を強く規定してしまったという意味での「衝撃、であった。

被災した熊本城や多くの集落の姿を目の当たりにした私たちは、4月の段階から、永青文庫資料に含まれている地震関係史料の本格的な調査を開始した。古文書・古記録を対象とした調査の結果、歴史的にみると熊本は、決して地震の少ない土地ではなかったという事実や、繰り返す地震による江戸時代の熊本城の被災・修復状況、それに地域社会の状況がわかってきた。

今回の熊本地震による熊本城の被害状況は甚大であり、復旧のための調査が多方面で行われている。本センターの調査結果も、各メディアやシンポジウムを通じて、いくらかは発信することができた。それらの成果の一部は、本年報に収録の後藤典子「細川忠利期における熊本城普請—近世初期の城普請・公儀普請・地方普請—」に集約されている。また、2017年春より熊本県立美術館、永青文庫（東京）で開催される展覧会を通じても市民に還元する予定である。

熊本地震では民間所有の多くの古文書など未指定文化財も被災した。発災直後の4月23日に県内の学識者や学芸員によって「熊本被災史料レスキューネットワーク」が結成され、これら文化財のレスキューにあたった。その事務局が本センターに置かれたことも特記しておこう。

また、被災にもかかわらず、永青文庫資料の広範な活用をはかるための総目録の Web 公開準備（目録データの校正作業）や、同資料群の目録データと画像データのリンク整理作業についても、相当の進展をみた。

ところで、2009年4月に設置された本センターであるが、本年度は文学部附属センターとしての最後の年となった。2017年4月1日付で、学内共同教育研究施設に改組されるからである。

引き続き本センターは、永青文庫資料をはじめとする熊本藩関係資料の総合的な研究をつうじて、当該資料に立脚した拠点的研究を組織するとともに、文化行政機関等との連携によって地域文化振興に貢献するべく、前進していく所存である。

関係各位の変わらぬご支援を賜れば幸甚である。

2017年2月28日

熊本大学文学部附属永青文庫研究センター長

稲葉 継陽

目 次

緒 言	1
1. 年間活動記録	4
2. 年間活動報告	9
(1) 研究活動	9
(2) 展覧会・講演会活動	10
(3) その他	10
3. センター教員・研究員の年間活動	11
4. 論文	
後藤 典子 細川忠利期における熊本城普請 —近世初期の城普請・公儀普請・地方普請—	56

1. 年間活動記録

日付	活動内容	担当・打合せ相手等
平成28年4月12日	永青文庫林田理事来訪、理事・学長と打合せ	稲葉・原田学長・林田（永青文庫）
4月13日	西日本新聞野村氏来訪	稲葉・野村（西日本）
4月16日	附属図書館貴重書庫、被災状況確認	稲葉・川内野（図書館）
4月22日	熊本地方経済研究所荒森氏来訪 熊本日日新聞中原氏来訪	稲葉・荒森 稲葉・中原（熊日）
4月25日	文化財レスキュー会議（於県庁）	稲葉・県庁文化課・九博
4月26日	永青文庫研究センター運営委員会	稲葉
5月9日	熊本日日新聞高峰氏来訪	稲葉・高峰（熊日）
5月10日	読売新聞菊池氏来訪	稲葉・菊池（読売）
5月13日	歴史資料ネット吉川氏来訪	稲葉・吉川（資料ネット）
5月17日	永青文庫林田理事来訪	稲葉・林田（永青文庫）
5月19日	中国・安徽大学を訪問（～22日）	稲葉・原田学長・水元・伊藤・小林・羽方（国際課）・楊
5月20日	戸田恵子氏・近藤芳正氏ら来訪	後藤・天笠（ジッピー）・戸田・近藤
5月21日	シンポジウム「海を越える異文化交流 安徽大学と熊本大学を繋げる中日異文化交流フォーラム」開催（於安徽大学）	稲葉・原田学長・水元・伊藤・小林・羽方（国際課）・楊
5月23日	九州大学中野教授来訪 熊本日日新聞本多氏来訪	稲葉・中野（九大） 稲葉・本多（熊日）
5月26日	肥後の水とみどりの愛護基金理事会	稲葉
6月3日	「ファミリーヒストリー」（NHK）取材・撮影 熊本日日新聞飛松・中原氏来訪・取材	稲葉・後藤 稲葉・後藤・飛松・中原（熊日）
6月6日	永青文庫研究センター改組打合せ	稲葉・原田学長
6月7日	URA 推進室藤田氏来訪	稲葉・藤田（URA）
6月8日	熊本城調査研究センター木下氏来訪、資料調査 永青文庫研究センター改組打合せ 熊本日日新聞中原氏来訪	稲葉・木下（熊本市） 稲葉・後藤（人文総務） 稲葉・中原（熊日）
6月10日	熊本県立美術館長来訪	稲葉・横田（県美）
6月11日	肥後の里山ギャラリー講演会	稲葉
6月13日	永青文庫林田理事・佐々木氏来訪	稲葉・林田・佐々木（永青文庫）
6月18日	肥後の里山ギャラリー講演会	稲葉
6月20日	NHK 取材	稲葉

日付	活動内容	担当・打合せ相手等
6月22日	熊本県文化財レスキュー事業会議（於県庁）	稲葉
6月23日	HIGO プログラム小椋教授来訪	稲葉・小椋
6月24日	URA 推進室福田氏来訪	稲葉・福田（URA）
6月28日	熊本県文化課松永氏来訪 熊本日日新聞高峰氏来訪・打合せ	稲葉・松永（県庁） 稲葉・高峰（熊日）
6月30日	毎日新聞大森氏来訪・取材	稲葉・大森（毎日）
7月1日	熊本県文化財レスキュー事業会議（於県庁）	稲葉
7月5日	「東北発 未来塾」（NHKE テレ）取材・撮影 URA 推進室福田氏来訪	稲葉 稲葉・福田（URA）
7月6日	熊本県文化財レスキュー事業会議（於県庁）	稲葉
7月12日	NHK 熊本谷崎氏来訪・取材	稲葉・谷崎（NHK 熊本）
7月18日	独立行政法人 国立文化財機構「文化財防災ネットワーク推進事業」特別講演会『歴史と共に考える文化財の防災・減災』報告（於九博）	稲葉
7月19日	朝日新聞中村氏来訪	稲葉・中村（朝日）
7月21日	チューリッヒ大学（スイス）ラジ・シュタインェック教授附属図書館貴重書庫視察	稲葉・川内野（図書館）
7月22日	熊本県文化財レスキュー事業会議（於県庁）	稲葉
7月25日	熊本大学への寄付者 附属図書館貴重書庫視察	稲葉・原田学長
8月1日	経営企画課岸氏来訪	稲葉・岸（経営企画課）
8月2日	永青文庫林田理事来訪	稲葉・林田（永青文庫）
8月9日	熊本さわやか大学校（八代校）講演会 熊本県立美術館山田氏来訪	稲葉 稲葉・後藤・山田（県美）
8月10日	NHK 熊本田村・吉崎氏来訪 静岡大学今村准教授来訪	稲葉・田村・吉崎（NHK 熊本） 稲葉・今村（静岡大）
8月22日	金剛(株)取材	稲葉
8月24日	KKT 大木氏来訪	稲葉・大木（KKT）
8月25日	熊本さわやか大学校（熊本校）講演会	稲葉
8月27日	肥後の里山ギャラリー講演会	稲葉
8月30日	KKT 取材	稲葉
8月31日	(株)肥後銀行竹下・吉丸氏来訪	稲葉・竹下・吉丸（肥銀）
9月5日	「東北発未来塾 古文書ハンターの防災教室 城はすべてを知っている！」（NHKE テレ）放送 永青文庫研究センター改組打合せ	稲葉 稲葉・原田学長

日付	活動内容	担当・打合せ相手等
	熊本県立美術館山田氏来訪	稲葉・後藤・山田（県美）
	南島原市教育委員会南浦氏来訪・資料調査（～7日）	稲葉・後藤・南浦（南島原市）
9月8日	「ファミリーヒストリー 財津和夫～熊本藩士の誇り 新天地を切り開く～」(NHK) 放送	
9月10日	大分県立先哲史料館講演会	稲葉
9月11日	読売新聞後藤氏来訪・取材	稲葉・後藤（読売）
9月12日	熊本県立第一高校同窓会講演打合せ	稲葉
9月17日	熊本県立第一高校同窓会講演会	稲葉
9月21日	熊本県立美術館山田・林田氏来訪	稲葉・山田・林田（県美）
10月1日	熊本県立美術館開館40周年記念シンポジウム「熊本県立美術館のこれまでとこれからを語ろう！」報告	稲葉
10月4日	永青文庫林田理事来訪	稲葉・林田（永青文庫）
10月5日	東京大学史料編纂所山口・林氏来訪・資料調査（～7日）	稲葉・山口・林（東大）
10月7日	津波関係石碑調査（宇土～玉名）	稲葉・後藤・山田（県美）
10月8日	熊本大学×東北大学 市民公開講座「今、ともに学び考える！」講演会	稲葉
10月11日	「細川忠利血判起請文」（道家家文書）複製品 贈呈式出席（於附属図書館）	稲葉・後藤
10月13日	玉名市教育委員会竹田氏来訪	稲葉・竹田（玉名市）
10月14日	六大学教養教育担当者研究会 講演	稲葉
10月17日	滋賀県出張・資料調査（～18日）	稲葉・後藤・山田（県美）
10月20日	熊本県文化財保護大会打合せ（於県庁）	稲葉
	永青文庫伊藤氏来訪	稲葉・後藤・伊藤（永青文庫）
10月21日	毎日新聞記者来訪・取材	稲葉
10月26日	東京大学地震研究所地震・火山噴火予知研究協議会主催「熊本地震シンポジウム」報告	稲葉
11月4日	朝日新聞記者来訪・取材	稲葉
11月4日	第32回貴重資料展「熊本藩法と犯罪史—裁く人と裁かれる人たち」開催（～6日）	来場者：357名
11月5日	第11回永青文庫セミナー「熊本藩刑法の特徴と犯罪の実態—天領との比較を通じて」開催	熊本大学附属図書館1F 安高 参加者：103名
11月7日	熊本県立図書館にて熊本城絵図調査	稲葉・後藤・山田（県美）
11月11日	URA 推進室福田氏来訪	稲葉・後藤・福田（URA）

日付	活動内容	担当・打合せ相手等
11月12日	第11回ホームカミングデー・キャンパスツアーA「熊本藩法と犯罪史—裁く人と裁かれる人たち」開催	安高
11月16日	RKB ラジオ「二丁目お茶の間劇場」（福岡）電話出演	稲葉
11月18日	熊本県文化財保護協会大会報告、パネルディスカッション	稲葉
12月1日	医学部谷原教授来訪	稲葉・谷原（医学部）
12月4日	独立行政法人 国立文化財機構「文化財防災ネットワーク推進事業」公開シンポジウム 地域と共に考える文化財の防災・減災Ⅲ『熊本地震と文化財レスキュー』報告	稲葉
12月9日	永青文庫林田理事、伊藤氏来訪	稲葉・後藤・林田・伊藤（永青文庫）
12月11日	福井大学長谷川准教授、前橋国際大学野口准教授来訪・資料調査（～12日）	稲葉・長谷川（福井大）・野口（前橋国際大）
12月13日	菊池市教育委員会阿南氏来訪・資料調査	稲葉・阿南（菊池市）
	朝日新聞山田氏来訪・取材	稲葉・山田（朝日）
12月16日	八代市立博物館林氏来訪・資料調査	稲葉・林（八代市博）
12月17日	肥後の里山ギャラリー講演会	稲葉
	熊本日日新聞中原氏来訪・取材	稲葉・中原（熊日）
12月19日	熊本日日新聞本多氏来訪	稲葉・本多（熊日）
	永青文庫研究センター改組、学長訪問	稲葉・原田学長
12月22日	舞鶴市教育委員会石原・吉岡氏来訪、熊本城視察	稲葉・後藤、石原・吉岡（舞鶴市）
12月26日	熊本県立美術館山田氏来訪	稲葉・山田（県美）
12月27日	肥後の里山ギャラリー村田氏来訪	稲葉・村田（里山ギャラリー）
	熊本建築士会山川氏来訪	稲葉・山川（建築士会）
12月28日	熊本日日新聞飛松氏来訪	稲葉・飛松（熊日）
12月30日	西日本新聞佐々木氏来訪	稲葉・後藤
平成29年1月20日	NHK 鈴木氏来訪	稲葉・鈴木（NHK）
1月31日	テレビ朝日遠藤氏ら来訪	稲葉・後藤・内山・後藤（広報）・遠藤（TV朝日）
2月6日	熊大通信取材	稲葉・内山（広報）
	NHK カルチャー 園田氏来訪	稲葉・園田（NHK カルチャー）
2月15日	文化財復興義援金配分委員会（於県庁）	稲葉
2月18日	原城図書館「原城落城のとき—禁教・潜伏への道のり」（南島原市）特別展講演会	稲葉
2月23日	永青文庫林田理事来訪	稲葉・林田（永青文庫）

日付	活動内容	担当・打合せ相手等
2月25日	壬生町歴史民俗資料館（栃木県）企画展シンポジウム「壬生藩鳥居家の祖「元忠」の関ヶ原」講演会	稲葉
3月2日	熊本県教育庁文化課来訪 永青文庫林田理事来訪	稲葉・左座（文化課）・溝辺（文化課） 稲葉・林田（永青文庫）
3月8日	肥後の水とみどりの愛護基金理事会	稲葉
3月9日	（財）永青文庫橋本副館長来訪・打合せ	稲葉
3月14日	東京大学史料編纂所山口・林所員来訪、資料調査（～16日）	稲葉・山口・林（東大）
3月18日	熊本被災史料レスキューネットワーク主催シンポジウム「大慈禅寺と本妙寺―被災寺院の知られざる歴史と現在―」開催	稲葉
3月21日	永青文庫（東京）訪問・打合せ、資料調査（～22日）	稲葉・後藤
3月27日	永青文庫研究センター学内共同教育研究施設化記者発表	稲葉・原田学長
3月27日	千葉大学小関准教授、宮内庁書陵部白石研究員、神戸大学高槻准教授資料調査（～28日）	稲葉・小関（千葉大）・白石（宮内庁）・高槻（神戸大）

2. 年間活動報告

(1) 研究活動

1) 総目録データ web 公開のための補訂作業

昨年度公開した総目録は、2017年度の WEB 公開（検索機能付き）を目指している。本年度は、そのためのデータチェック、修正作業を完了した。

本目録は、熊本大学文学部附属永青文庫研究センターが2009年から2015年まで実施した熊本大学寄託永青文庫細川家資料（以下、永青文庫資料という）の調査事業の成果を総括した目録である。

永青文庫資料は、資料群としての規模の大きさもさることながら、内容もじつに多様である。本目録は、1969年に刊行された「永青文庫細川家旧記・古文書分類目録 正篇」の成果を前提にしつつも、同目録では一括登録処理されていた歴史資料にすべて枝番号を付して一点ごとに登録し、また、資料の内容についても、その資料の概要が可能な限り把握しうる情報を入力するようつとめた。

本目録の WEB 公開によって、永青文庫資料の活用・研究は、新しい段階に入ることになるであろう。

2) 画像データと目録データの接続編集作業の完成

今後の研究に活用するため、永青文庫研究センターが蓄積した画像データと、同センターが作成した目録データとをリンクさせる作業を実施した。ソフトは「File Maker」を用い、重要資料を中心に全17,958件の写真データを総目録データとリンクさせる作業を完了した。

目録と画像データがリンクして編集されたことにより、本センターに2009年以来蓄積されてきた永青文庫資料画像の検索能力は格段にアップした。日常の研究活動のほか、展覧会企画等の事前調査や図録への画像データ提供等に極めて有効であるため、本センターにおける共同研究や社会連携活動を推進するに際して効果を発揮している。

3) 初期藩政冊子史料の解析

近世初期永青文庫細川家文書の総合的解析による藩政確立過程の研究を推進するため、17世紀前半までの冊子体の藩政史料群について、一冊ごとの内容の細目録を作成することを通じて、その全容を詳細に明らかにし、併せて近世大名領国における藩政の形成過程を解明する研究事業である（科研費基盤（B）：近世初期永青文庫細川家文書の総合的解析による藩政確立過程の研究：研究代表者稲葉）。

本年度は、2017年2月末の時点で、元和～寛永期（細川忠利代）を中心に、書状案等2,632点の目録を作成した。

4) 中国・安徽大学徽学研究センターとの国際シンポジウムの開催

2016年5月、中国・安徽大学徽学研究センターとの共同シンポジウム「海を越える異文化交流 安徽大学と熊本大学を繋げる中日異文化交流フォーラム」を安徽大学にて開催した。

熊本大学側からは以下の2本の研究報告が、安徽大学側からは6本の研究報告がなされ、日中社会構造の比較研究について、国際化への一歩をしるした。

伊藤正彦「領域性の生成論理—明代徽州魚鱗冊関係文書をてがかりに—」
稲葉継陽「村落共同体における領域生成—山野河海の共同体的領有をめぐって—」

(2) 展覧会・講演会活動

1) 第32回 熊本大学附属図書館貴重資料展「熊本藩法と犯罪史—裁く人と裁かれる人たち」(2016年11月4日～6日、熊本大学附属図書館と共催)の開催

2) 第11回 永青文庫セミナー 安高啓明「熊本藩刑法の特徴と犯罪の実態—天領との比較を通じて」(2015年11月1日、熊本大学附属図書館と共催)

永青文庫には、近世熊本藩の法制史料が多数伝来している。これらを読み解くことにより、江戸時代の熊本で発生していた犯罪とその取り調べ、刑罰の申し渡しといった司法制度を明らかにすることができる。さらに、裁きの背景にあった熊本藩法を分析することで、法の運用実態も明らかになる。本資料展では、永青文庫研究センター兼務教員の安高啓明准教授の担当によって、熊本藩の法律と犯罪の実態と両者の関係を紹介した。来場者は357名にのぼった。

あわせて、2)の講演会も開催した。来聴者は103名であった。

3) 永青文庫 平成29年 春季展「熊本城 加藤清正と細川家」(2017年3月18～6月4日)への協力

2016年4月の熊本震災から1年を契機に公益財団法人永青文庫が企画した本展には、開催準備段階から協力し、本センターによる近世熊本の地震関係史料の調査成果が反映された。なお、本センターの調査成果そのものは、本年報収録の後藤典子論文、及び4)の熊本県立美術館での展覧会を参照されたい。

4) 熊本県立美術館「特集 震災と復興のメモリー@熊本」(2017年4月14日～5月21日)の開催準備

本展は、古代・近世・近代の熊本地域における地震史料を展示するものとして企画された。永青文庫研究センターは熊本県立美術館等と本展を共催し、近世熊本の地震関係史料の調査成果を提供し、図録の執筆・作成に加わった。なお、展示品の選定作業そのものに本センター作成の永青文庫資料総目録データが活用されたことを特記しておく。

5) その他

本センターの専任教員及び兼務教員は、それぞれの永青文庫資料等の研究成果の普及のための講演を数多く担当した。本年報の「3. センター教員の年間活動」欄を参照されたい。

(3) その他

NHKなどテレビ局の番組制作に協力し、「東北発 未来塾」「ファミリーヒストリー」など、いくつかの番組が放送された。本年報の「年間活動記録」の欄を参照されたい。

このうち、「東北発 未来塾」では寛政4年(1792)の熊本藩領沿岸部の津波災害の状況を示した絵図や、災害復興政策の立案実態を示す郡方「覚帳」といった永青文庫の歴史資料が紹介された。永青文庫の藩政史料の特色をひろく発信できた点は意義深かった。

3. センター教員の年間活動

稲葉継陽

各種委員会

人吉城跡調査検討委員、佐敷城跡調査検討委員(芦北町)、宇土城跡調査検討委員、菊之城史跡調査検討委員(菊池市)、棚底城跡活用計画策定委員(天草市)、上天草市史編纂委員、公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金理事、熊本県文化財保護審議委員、平成28年被災文化財等復旧復興基金配分委員会(熊本県)

論文

- ・「16世紀日本における領域秩序の変動と近世国家」(佐藤公美編『アルプスからのインターローカル・ヒストリー—地域—から—間地域—へ』(佐藤公美研究室、2016年3月、pp.93-101)
- ・「書評 水本邦彦著『百姓たちの近世』」(『新しい歴史学のために』288、2016年5月、pp.77-84)
- ・「島原・天草一揆と「天下泰平」」(南島原市×西南学院大学博物館連携特別展図録『原城落城のとき—禁教・潜伏への道のり—』、2017年2月、pp.43-49)
- ・「古文書から読み解く震災—地域史料の保全と地域の持続—」(岩岡中正・高峰武編『熊本地震2016の記憶』弦書房、2017年3月、pp.130-147)
- ・「加藤清正と熊本城下町」(『大学的熊本ガイド』昭和堂、2017年3月刊行予定)

研究発表

- ・「村落共同体における領域生成—山野河海の共同体的領有をめぐって—」シンポジウム「海を越える異文化交流 安徽大学と熊本大学を繋げる中日異文化交流フォーラム」、2016年5月21日、安徽大学(中国)
- ・「熊本地震後の被災史料レスキュー活動について」東京大学地震研究所地震・火山噴火予知研究協議会「平成28年熊本地震シンポジウム」、2016年10月26日、熊本市国際交流会館

講演

- ・「古文書講座7 織田信長研究の最前線—信長の「天下」をめぐって—」肥後の里山ギャラリー 2016年度古文書講座、2016年6月11日
- ・「古文書講座8 豊臣秀吉の「天下」と細川幽斎」肥後の里山ギャラリー 2016年度古文書講座、2016年6月18日
- ・「歴史資料を未来につなぐということ—大名家文書と在地文書、熊本震災の経験から—」独立行政法人国立文化財機構「文化財防災ネットワーク推進事業」特別講演会、2016年7月18日、九州国立博物館
- ・「織田信長研究の最前線—信長の「天下」をめぐって—」くまもとさわやか大学校 八代校講座、2016年8月9日、八代ハーモニーホール
- ・「織田信長研究の最前線—信長の「天下」をめぐって—」くまもとさわやか大学校 熊本校講座、2016年8月25日、熊本県総合福祉センター

- ・「古文書講座9 九州の戦国動乱と領土問題—地域の平和から「天下泰平」へ—」肥後の里山ギャラリー 2016年度古文書講座、2016年8月27日
- ・「細川家の豊前・豊後支配と地域社会」大分県立先哲史料館夏季企画展記念講演会、2016年9月10日、大分県立図書館視聴覚ホール
- ・「近世熊本への被災と復興—震災、台風災害、津波被害—」清香会特別講座、2016年9月17日、熊本第一高等学校 清香館
- ・「熊本県立美術館のこれまでとこれからを語ろう！」(パネルディスカッション) 熊本県立美術館40周年記念シンポジウム、2016年10月1日、熊本県立美術館本館講堂
- ・「熊本城の震災の歴史—「今から」を歴史にするために過去に学ぶ」熊本大学×東北大学市民公開講座、2016年10月8日、熊本大学薬学部
- ・「永青文庫細川家資料に見る戦国武将の実像」第64回六大学教養教育代表者(教育・事務)会議、2016年10月14日、熊本大学くすのき会館
- ・「パネルディスカッション 熊本地震 被災文化財の復旧に向けて～美しい熊本の宝を次世代に伝えるために～」熊本県文化財保護大会(第6回文化財研修会)、2016年11月18日、熊本県庁地下大会議室
- ・「細川家の古文書に見る保田窪」第7回 西原1町内文化祭、2016年11月27日、西原1町内公民館
- ・「熊本被災史料レスキューネットワークの取り組み」独立行政法人国立文化財機構「文化財防災ネットワーク推進事業」公開シンポジウム、2016年12月4日、九州国立博物館
- ・「古文書講座10 戦国期熊本地域の民衆世界—「天下泰平」を支えた力—」肥後の里山ギャラリー 2016年度古文書講座、2016年12月17日
- ・「島原・天草一揆と「天下泰平」」南島原市×西南学院大学博物館連携特別展関連公開講演会、2017年2月18日、原城図書館
- ・「戦場は関ヶ原のみにあらず—慶長5年内戦の実態にせまる—」壬生町歴史民俗資料館企画展シンポジウム、2017年2月25日、城址公園ホール(栃木県下都賀郡壬生町)

雑誌連載

- ・「永青文庫 歴史万華鏡」(12)～(23)『阿蘇』1008～1019号、2016年4月～2017年3月
- ・「細川家文書の世界」第6～9回『季刊永青文庫』No.94～97、2016年4月～2017年3月
- ・「熊本地震と文化財の保全・復旧」『kumamoto 地方経済情報』52、2016年7月
- ・「織田信長研究の最前線—信長の「天下」をめぐる—」『kumamoto 地方経済情報』53、2016年8月
- ・「戦国動乱から「天下泰平」へ—戦場の逸脱暴力と平和創出—」『kumamoto 地方経済情報』57、2016年12月
- ・「「天下泰平」の江戸時代—秀吉の政策と長期平和—」『kumamoto 地方経済情報』60、2017年3月

新聞連載・寄稿

- ・「くまにち論壇 日本史に見る立憲主義の伝統」『熊本日日新聞』2016年5月29日朝刊
- ・「くまにち論壇 被災した民間の古文書を救え」『熊本日日新聞』2016年7月31日朝刊

- ・「くまにち論壇 熊本城二の丸の活用法に疑問」『熊本日日新聞』2016年10月30日朝刊
- ・「くまにち論壇 天守閣の復旧 拙速避けたい」『熊本日日新聞』2017年1月29日朝刊
- ・「天守閣 木造復元できないか」『熊本日日新聞』2017年3月1日朝刊

三澤 純

各種委員会

熊本県議会史編纂委員、くまもと文学・歴史館協議会委員、熊本市町界町名審議会委員長、御船町文化財保護委員

講演

- ・「被災史料レスキュー活動と地域史研究」熊本大学第13回21世紀文学部フォーラム、熊本大学文学部、2016年11月12日
- ・「熊本史料ネットの活動について」第3回全国史料ネット研究交流集会、愛媛大学南加記念ホール、2016年12月17・18日、

研究発表

- ・「熊本藩明治三年改革と道家之山」(熊本近代史研究会2016年11月例会、熊本市現代美術館、2016年11月8日)
- ・「明治熊本震災に関する第六師団の被害報告書について—宮内庁所蔵史料の紹介と分析—」(木下泰葉と共同発表)(熊本史学会2016年度秋季研究発表大会、熊本県婦人会館、2016年12月4日)

論文

- ・「第1章第12節 昭和52年7月定例県議会」(熊本県議会事務局編『熊本県議会史』第八巻、熊本県議会、近日刊行予定)
- ・「第1章第13節 昭和52年9月定例県議会」(熊本県議会事務局編『熊本県議会史』第八巻、熊本県議会、2016年3月、近日刊行予定)
- ・「第1章第14節 昭和52年12月定例県議会」(熊本県議会事務局編『熊本県議会史』第八巻、熊本県議会、2016年3月、近日刊行予定)
- ・「第1章第15節 昭和53年3月定例県議会」(熊本県議会事務局編『熊本県議会史』第八巻、熊本県議会、2016年3月、近日刊行予定)
- ・「第1章第16節 昭和53年6月定例県議会」(熊本県議会事務局編『熊本県議会史』第八巻、熊本県議会、2016年3月、近日刊行予定)

安高啓明

各種委員会

八代市立博物館未来の森ミュージアム協議会委員、勝海舟記念館(旧清明文庫)展示設計業務委託に係る事業者選定委員会選定委員、勝海舟記念館(旧清明文庫)整備事業検討委員会委員、勝海舟記念館資料収集評価委員会委員、西南学院史資料センター展示小委員会委員、苓北町文化財保護委員会

編著書

- ・『四郎乱物語』（校訂・編著）（天草市・天草市立天草キリシタン館、2016年、235頁）
- ・『熊本藩法と犯罪史—裁く人と裁かれる人たち』（編著）（熊本大学附属図書館、2016年、18頁）
- ・『浦上四番崩れ—長崎・天草禁教史の新解釈』（単著）（長崎文献社、2016年、259頁）
- ・『天草キリスト教関連遺産ガイドブック』（監修）（熊本県、2017年、56頁）
- ・『平成28年熊本地震に関する調査報告書』（監修・編著）（熊本大学日本史研究室・日本財団、2017年、200頁）

研究発表

- ・「長崎奉行所の司法制度改正過程」公益財団法人史学会第114回大会日本近世史シンポジウム、東京大学本郷キャンパス、2016年11月13日
- ・「天草における禁教政策—絵踏・影踏の分析から」熊本史学会2016年度秋季研究大会、熊本県婦人会館、2016年12月5日

講演

- ・「江戸時代の裁きと仕置—「犯科帳」と熊本藩永世文庫資料からひも解く」熊本大学関西オフィスセミナー、うめだカレッジ、2016年9月10日
- ・「江戸時代の裁きと仕置—「犯科帳」と熊本藩永世文庫資料からひも解く」熊本大学東京オフィスセミナー、東京工業大学キャンパスイノベーションセンター、2016年9月25日
- ・「福岡のキリシタン」西南学院公開講座、西南学院大学、2016年9月26日
- ・「熊本藩刑法の特徴と犯罪の実態—天領との比較を通じて」熊本大学附属図書館貴重資料展公開講演会・第11回永青文庫セミナー、熊本大学附属図書館、2016年11月5日
- ・「禁教史における大村郡崩れの意義」大村市郷土史講演会、市民交流プラザおおむら、2017年2月18日
- ・「江戸時代における熊本・八代の法度と犯罪」八代市博物館未来の森ミュージアム、2017年2月26日
- ・「天草キリシタン史の可能性—天草キリシタン館所蔵資料をてがかりに」天草文化交流館2階講堂、2017年3月20日
- ・「古文書を読もう（初級）」西南コミュニティセンター講座、2016年6月2・9・16・23・30日／10月6・13・20・27日、11月10日
- ・「古文書入門」熊本市東部公民会自治会、2016年度毎月第2・第4土曜日

新聞寄稿

- ・「地域を語る文化財救出を」『西日本新聞』2016年5月12日朝刊

後藤典子（特別研究員）

論文

- ・「近世初期熊本城の被災と修復」（『総合文化誌 kumamoto』No.16、2016年9月、pp.58-63）
- ・「細川忠利期における熊本城普請—近世初期の城普請・公儀普請・地方普請—」（『熊本大学文学部附属永青文庫研究センター 年報』第8号、2017年3月、pp.1-42）

永青文庫研究センター年報

第8号 (2016年度)

発行日：2017年3月31日

発行者：熊本大学文学部附属
永青文庫研究センター

〒860-8555

熊本市中央区黒髪2-40-1

TEL 096-342-2304

印刷所：シモダ印刷株式会社